

「信仰と、祈りと、知恵と」
出エジプト記 17章～18章
～モーセの生涯（5）～

はじめに

今回は、モーセの生涯の5回目です。主は、モーセによってイスラエルをエジプトから救い出されました。エジプトを出た民は、荒野を歩いて約束の地カナンに向かいましたが、その間、民は神を信頼して生きて行かねばなりません。荒野には水も食べ物もありません。また、エジプトの追撃にも会いました。その一つ一つの場面で神を信じていかななくてはならなかったのです。荒野の生活は、信仰が試される生活です。クリスチャンも、この世にあって信仰によって生きていきます。生活の一つ一つの場面が信仰を試され、育てられていく機会となります。

さて、今朝は、エジプトを出たイスラエルの民がシナイ山で律法を与えられるまでの続きです。彼らにとって必要だった「信仰」と、「祈り」と、「知恵」を学びましょう。

中心聖句「モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった」（17:11）。

1 信仰（17:1-7）。

（1）飲む水がない（1-3）。

荒野に入ってすぐ、マラという所に来たとき、水はありましたが、苦くて飲めませんでした。民はモーセに文句を言いました。すると、神はモーセに杖を投げよと言われ、その水は飲めるようになりました。

ところが、今度レフィディムという場所に来たときは、飲む水がありませんでした。民は今度は「私たちがここで死なせる気か」（8）とモーセと争い、モーセを石で殺そうとしました（4）。

この時の民は、「主はわたしたちの中におられるのか、おられないのか」と言って主を試みたのです（7）。

適用：信仰の試練は、だんだん難しくなります。しかし、主を試すようなことをしてはなりません。

（2）モーセの祈り（4）。

モーセは「どうすればいいでしょう」と主に祈りました（4）。

適用：どうしようもないとき、私たちは神に祈ることができるのです。ですから、どんな時でも祈りましょう。

(3) 岩を打つと、岩から水が出た (6-7)。

主は、モーセに「杖で岩を打つと水が出る」と言われ、モーセがその通りにすると、水が出ました (6)。

適用：モーセにとっても、民にとっても、驚くべき奇跡でした。が、後にモーセは、この経験のゆえに失敗します (民数記 20:2-13)。私たちは、自分の経験だけで行動すると失敗します。つまり、あのときはこうしたらうまくいったからといって、この時もうまくいくとは限りません。その時、その時の神のみことばに従うことが大切であることを覚えておきましょう。

使徒パウロは、「この岩はキリストです」と教えました (I コリント 10:4) そして、私たちは岩であるキリストからいのちの水を頂くことが出来るのです。

民が天からのパンと、岩からの水で養われたように、私たちもいのちのパンと水であるキリストによって養われます。

2 祈り (8-16)。

(1) アマレクとの戦い (1-9)。

アマレクは、アブラハムの子イサクの長男エサウの子孫と言われる遊牧民で、イスラエルに戦いを挑んで来ました。

(2) モーセが手を上げているときは、イスラエルが優勢になり、手を降ろしているときは、アマレクが優勢になった (11)。

モーセは、ヨシュアに命じて彼らと戦わせましたが、自らは丘の上に立ちました。モーセが手をあげるとイスラエルが優勢になり、手を降ろすとアマレクが優勢になりました。

手を上げるというのは、「祈り」の象徴的行為です。ヨシュアが戦いましたが、主は、勝利は「祈り」よることを教えたのです。

適用：先にモーセの祈りを学びました。私たちの生活にも祈りが必要です。祈りがないと勝利を得られないのです。あなたの生活はどうですか。勝利がないとすれば、「手が下がっている」から、つまり祈りがないからではないでしょうか。

(3) アロンとフルは、モーセの手をささえた。

祈り手とそれをささえる人が必要であることが教えられています。

適用：ここには、戦うヨシュア、祈るモーセ、そしてそれを支えるアロンとフルがいました。教会の宣教活動には、戦う人、祈る人、それを支える人が必要なのです。いま、あなたはどの役を担いますか。

3. 知恵 (18:1-27)

(1) あなたがしていることは良くない (17)。

モーセのしゅうとイテロは、モーセの妻チッポラと二人の息子を連れてモーセに会いに来ました。翌日イテロはモーセが民にしていることを見て、モーセに忠告しました。モーセの所には朝から晩まで民が来て、モーセのさばきを待っていたのです。イテロは、「こんなことをしていたら、あなたも民も疲れ果ててしまう」と言ったのです。

適用：私たちは、何でも自分でする必要はありません。また、してはいけないのです。

(2) あなたは民に代わって神の前に (19)

イテロが示したのは、役割分担です。モーセがしなくてはならないことと、しなくてもいいこと、つまり他の人に任せるべきことをはっきりさせたのです。

モーセがしなくてはならないことは、三つです。神に祈ること (19)、彼らにみことばを教えること (20)、リーダーを選ぶことです。

(3) 民の中からリーダーを選ぶ (22)

リーダーの資格は、神を恐れる人、力のある人、不正の利を憎む人、誠実な人です (20)。民を組み分けし、それぞれに必要な責任者を任命し、責任を与え、組織を作りました。

適用：責任をはっきりさせることは、とても大切です。自分がすべきことと、してはいけないことをはっきりさせれば事はうまくいきます。

子育て:親としてすべきことはしっかり行い、子ども出来ることはしない。夫婦も同じ。教会も同じ。牧師のすべきことをしっかり行い、信徒の出来ることは信徒に任せる。牧師が何でもしてしまう教会はうまくいかない。

結論

モーセとイスラエルの民は、信仰と祈りと知恵の必要を学びました。私たちの生活にも、信仰と、祈りと、知恵が必要です。この三つをバランス良く保つ

ならば、うまくいきます。

夫婦の間も、子育ても、学校や会社での生活も、同じです。そして、祝福されたクリスチャン生活を送ることができるのです。

このように、律法を授けられるまでのイスラエルの歩みを顧みると、いくつかの重要なことがあったことが分かります。

過ぎ越し（キリストの十字架の死）

紅海渡渉（信仰生活への。洗礼）

天からのパン（キリストのいのち：聖餐式）

岩からの水（いのちの水）

アマレクとの戦い（祈りによる勝利）

責任分担（教会の組織化）

これらの一つひとつを確実に学び、経験して、豊かな信仰による人生を歩みましょう。

救い主として受け入れていない人への勧め。

あなたは、今日までイエス様を知らなかったかもしれませんが、しかし、イエス様はあなたを知っておられます。今日、今、イエス様のもとに帰っていらっしやい。イエス様は、それを望んでおられます。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」

祈り

父なる神様。あなたの御子イエス・キリストを感謝します。

私は、あなたに罪を犯して来ました。地獄に投げ込まれても当然な人間です。しかし、イエス様は私の罪のために十字架にかかり、私のために死んでくださいました。

あなたは、私のすべての罪を赦してくださいました。感謝します。

私は、いま、イエス・キリストを私の救い主、私の神として信じ、受け入れます。

あなたは、私をあなたの子として受け入れてくださることを感謝します。

今日からあなたに従っていきます。どうぞ、弱い私を導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。